



Masanobu Okajima

岡島政信 議員

12月定例会

質疑あれこれ

トピックス

一般質問

研修

追跡

Q・感震ブレーカー設置に補助金を

A・近隣自治体の動向を踏まえ検討

阪神淡路大震災は約22年前の平成7年2月、東日本大震災は6年前の平成23年3月、熊本地震は平成28年4月に発生している。東海地方はいつ発生してもおかしくないとも言われている。そこで愛知県東海地震を予想したデータを参考に聞く。

Q 豊山町は震度6弱では津波・浸水の被害なしと予想されている。町は死者数の試算をどの程度と予想しているか。

A 総務部長 最大クラスの南海トラフ地震が発生した場合の死者数は3名と予想する。

Q 家屋の倒壊等
はどれだけを予想しているか。

A 総務部長 全壊は50棟、半壊は462棟、計512棟と予想する。

Q 震度6弱の耐震構造が規定される以前に建てられた家屋数は。

A 総務部長 昭和56年以前に建てられた木造建物は2428棟、非木造建物は698棟、計3126棟である。

Q ライフラインの復旧予想は。

A 総務部長 被害の95%が復旧するまでに、上水道は約6週間、下水道は約3週間、電力は約1週間と想定する。

Q 阪神淡路大震災と東日本大震災では、家屋の倒壊被害

の他、地震火災による焼失被害がでている。その被害の内、電気関係が要因で発生する被害は約60%弱を占めている。その被害の防止方法に感震ブレーカーの設置がある。設置に向けた補助金制度の検討を。

A 総務部長 導入した場合、揺れと同時に電気が遮

断される。急に電気が止まっても困らないような対策や建物の耐震化等と併せて取り組むことで、感震ブレーカーの設置は効果的となる。感震ブレーカーの補助制度導入は近隣自治体の動向等を踏まえ検討する。

地震が引き起こす電気火災とは？
地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が原因とした時に発生する火災のことです。

感震ブレーカーとは？
感震ブレーカーは、地震を感じると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

感震ブレーカーを設置して電気火災から「家」「地域」を守ろう。

地震による電気火災対策を！

感震ブレーカーが効果的です！

東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が電気関係の出火でした。

そのうち
46%
電気関係
(58件)
54%

▲電気火災対策してますか